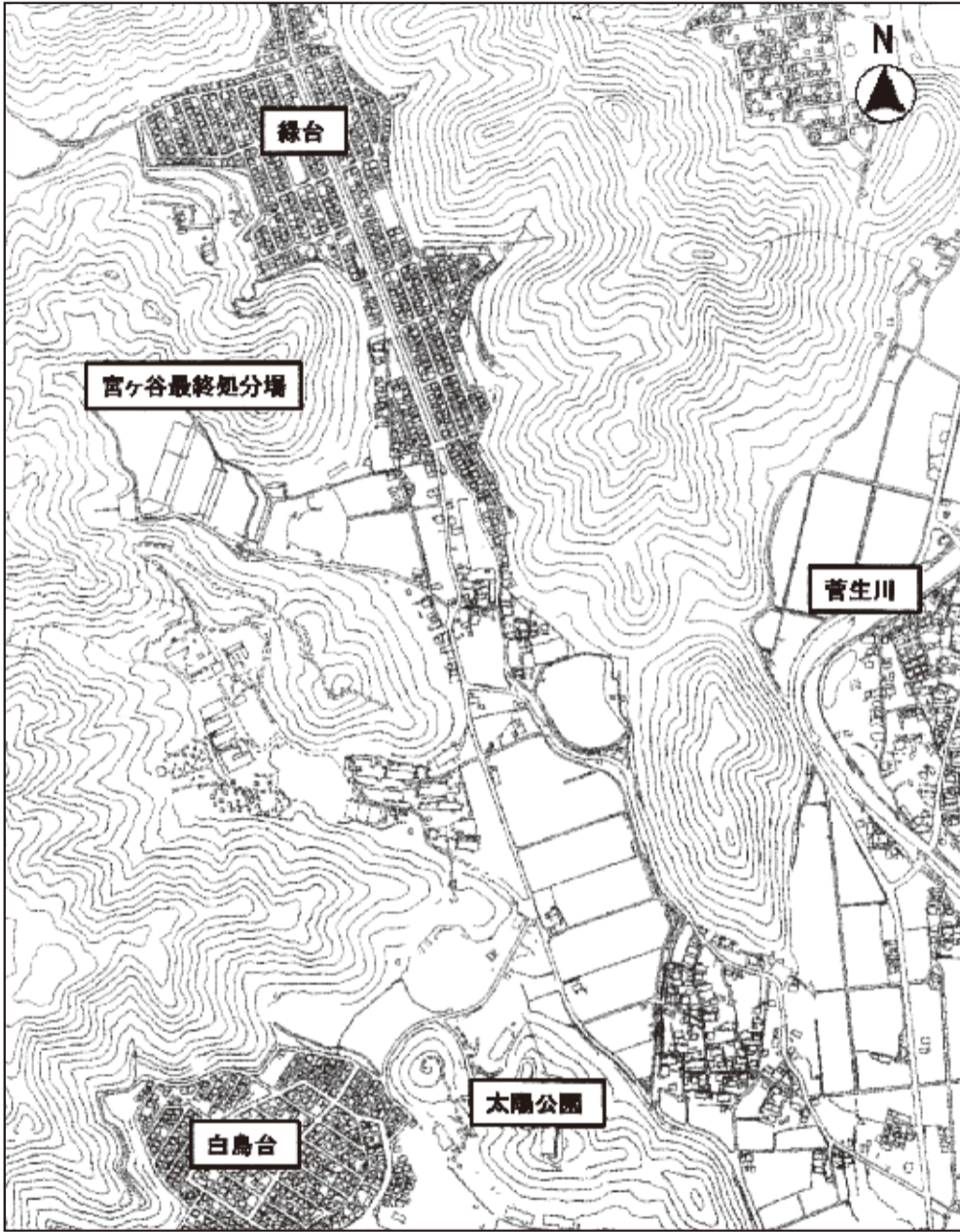


姫路市が元産廃処分業者 成臨興業(株)を刑事告発



県議員
入江次郎
県政報告
日本共産党
7月号
発行
姫路市本町 201
じょうかまち
編集委員会
Tel.288-4110

入江次郎



宮ヶ谷処分場周辺図



姫路市は2020年7月3日、同市打越にある宮ヶ谷産業廃棄物最終処分場を管理運営している成臨興業(株)代表・岩田孝成が許可容量を1万7463㎡超過した産業廃棄物を撤去するよう指示した行政命令に従わないため刑事告発しました。この事案について姫路市議時代から取り組んできた日本共産党の入江次郎兵庫県議に聞きました。



早くから議会で取り上げて

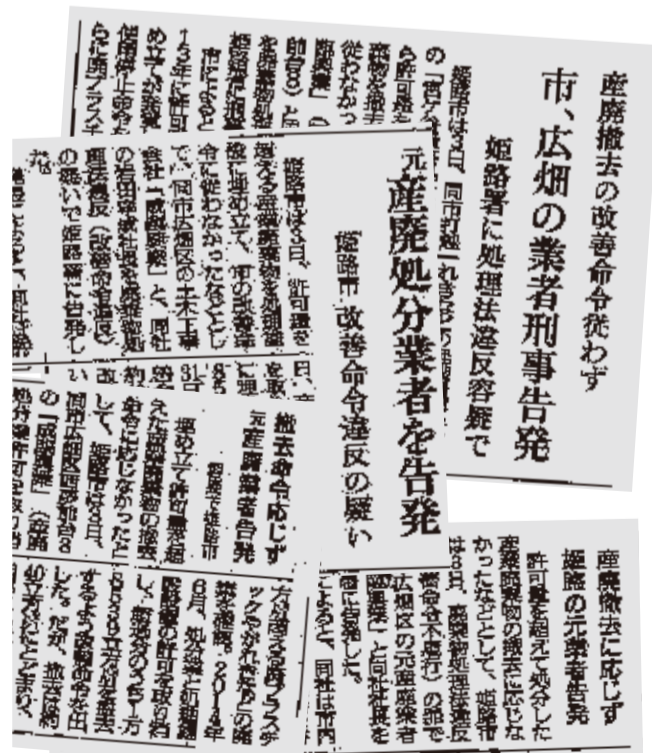
日本共産党姫路市議団は市民の声をもとに早くから宮ヶ谷処分場での許可容量超過や不法投棄について市議会でも取り上げてきました。

2013年には、市の同社への立ち入り検査記録簿を情報公開請求し、同社が埋め立て許可区域外への不当な埋め立てを2006年ごろから行っている事実を市が把握していたことを同年9月議会の論戦で明らかにしました。

再三にわたる党市議団の指摘によって、姫路市はようやく2014年6月、成臨興業に対し、許可を受けた埋め立て容量

を10万6058㎡超過していた宮ヶ谷処分場の容量を(許可埋め立て容量である)55万6595㎡に改善すること、(許可容量を超過して埋め立てられていたなどの)1万8539㎡の産業廃棄物を撤去し適正に処理することを命じる改善命令を出しました。

しかし、同社が撤去した廃棄物はわずか39㎡であり、2019年2月28日以降、搬出は行われておらず、また今年1月31日付けで文書指導を発したものの、改善命令で指示した廃棄物撤去が見込まれないとして、市は刑事告発に踏み切りました。



成臨興業への刑事告発を報じた7月4日付各紙